

マスチックワン施工要領書

【加熱タイプ】

令和3年10月

適応条件

項目	適用基準
用途	横断方向広幅クラック
	ポットホール・マンホールまわり
	橋りょう伸縮装置段差
施工深さ	5mm以上
施工幅	5cm以上
施工面積	1m ² 以内

施工条件

- *再施工が必要なほど激しい損傷部は避けてください。
- *補修する箇所はできるだけ清掃をおこなってください。（ケレン作業を推奨します）
- *降雨、降雪は施工できません。
- *交差点付近の損傷個所には使用しないでください。

材料

1. マスチックワン

材料名	写真
マスチックワン	 <p>姿荷 18.4kg</p>

- *この材料と容器の廃棄は有害特別廃棄物収集場所に処分する。
- *雨に濡れないよう、製品にシートをかけて保管してください。

2. クイックシール

材料名	写真
クイックシール	 <p>姿荷 幅6cm * 15m</p>

- *この材料と容器の廃棄は有害特別廃棄物収集場所に処分する。
- *雨に濡れないよう、製品にシートをかけて保管してください。

性能表

■ マスチックワン

項目	規準値	試験結果	試験
色相	黒		
比重	2.0		
割れ抵抗性 (応力緩和下限温度)		-9.6°C以上	舗装設計施工要領首都 高速道路株式会社
剥がれ抵抗性 (破壊回数)		10万回以上	

■ クイックシール

項目	試験結果	試験
流動試験 (A102)	5 mm以下	舗装調査・試験法便覧
針入度試験 (A102)	6 mm以下	
引張試験 (A102)	3 mm以上	

日常施工温度管理

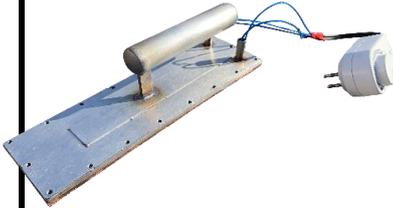
項目	基準値	備考
路面温度	4°C以上	
マスチックワン加熱温度	190°C~204°C	
交通開放	40°C以下	

施工機械

1. 溶解釜 メルター 30 (特殊バーナー付)

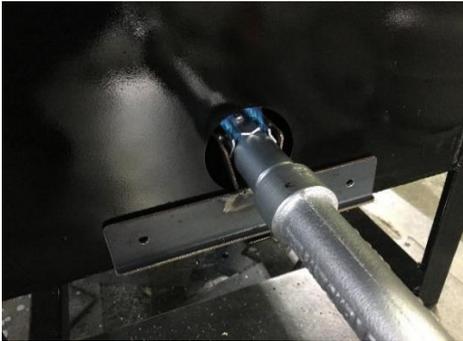
溶解釜 (外部)	特殊バーナー
	

2. 工具

非接触赤外線温度計	アイアンバケツ（取手付）	攪拌棒
		
柄杓	熱コテ電気	熱コテガス
		

その他

- *消火器
- *トーチバーナー
- *プロパンガス
- *手袋
- *バーナー

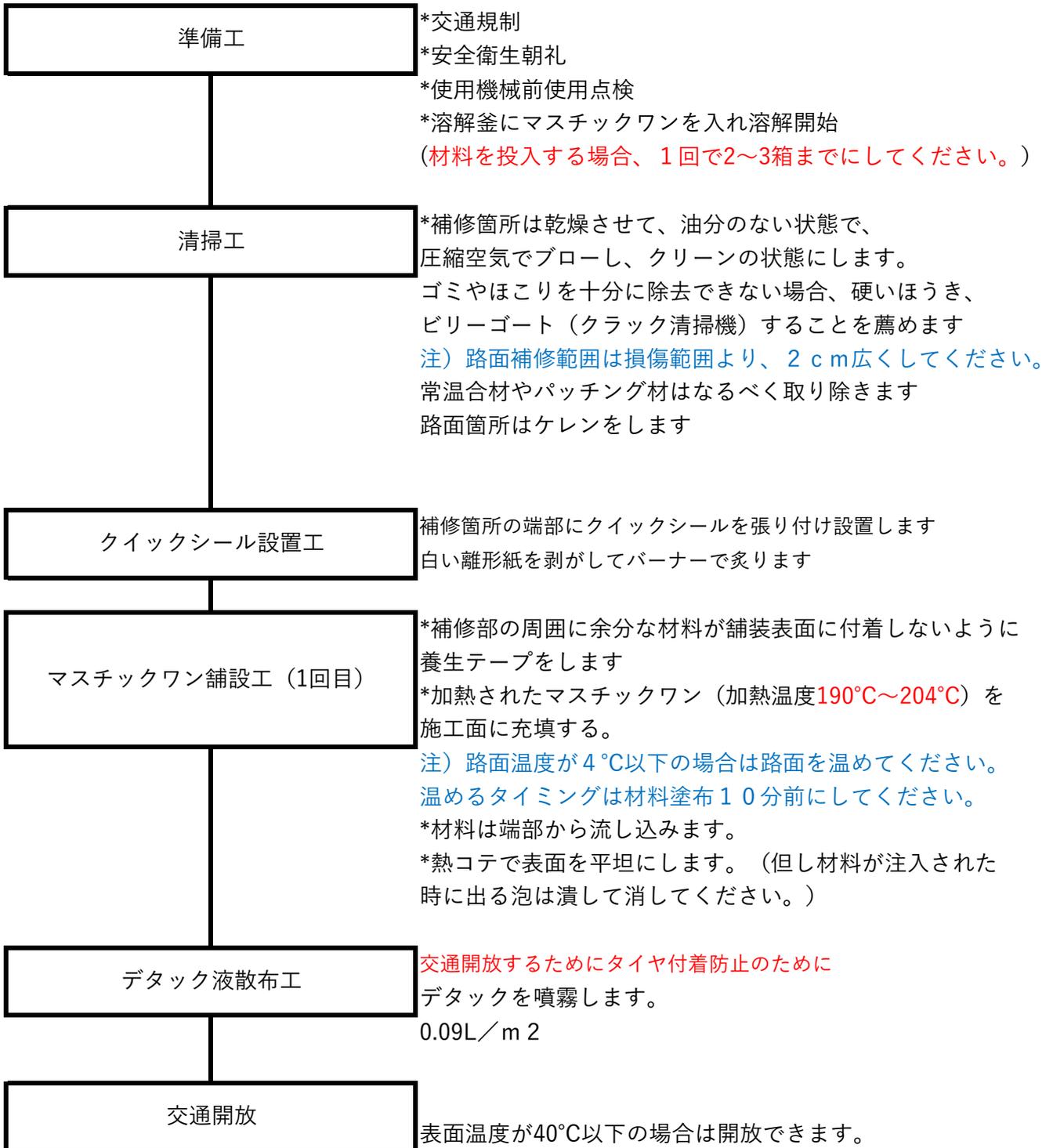


施工注意点

- *材料は直火では溶解しないください
引火します
- *ミニメルター30を使用の場合
溶解するために火をつける際、一度、特殊バーナーを
引き出してから火をつけてください。釜の中にガスが
溜まっていると、爆発する恐れがあります。

施工方法

施工ポイント…転圧はしません。敷き均します。



マスチックワン【加熱タイプ】 施工手順

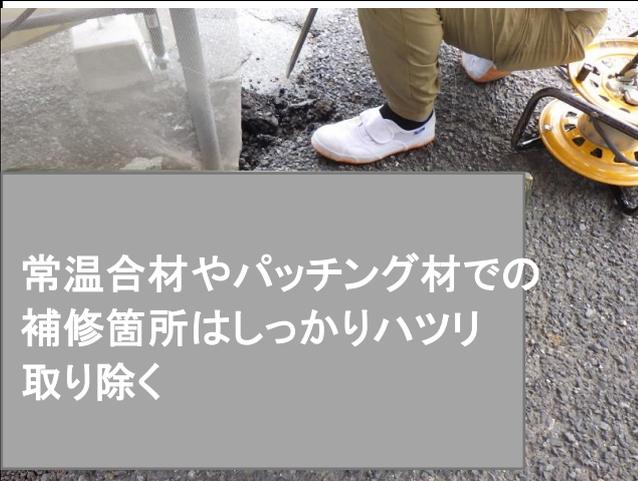


1. 施工前

路面温度が4℃以下の場合は路面を温めてください。



2. 材料溶解 ミニメルター30（溶解釜）に箱からあけて、材料を取り出し、そのまま投入し、火をつけます。1回目は3箱まで入れられます



常温合材やパッチング材での補修箇所はしっかりハツリ取り除く

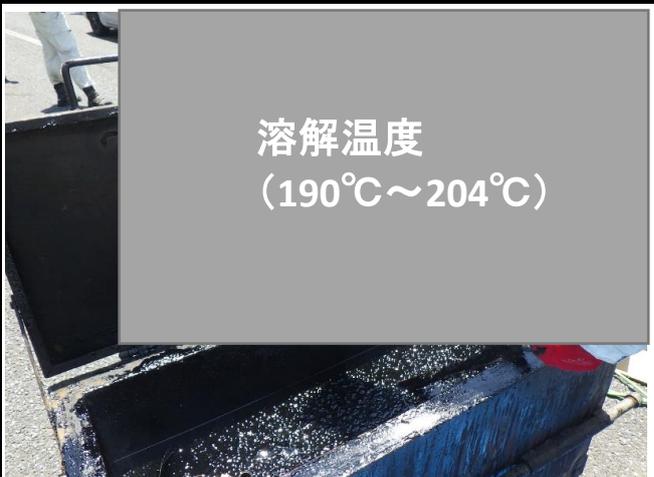


3. ハツリ

4. V・Uカット幅1cmX深さ1cm程度



5. ケレン 付着をよくするため、しっかりケレンします。クラック部の清掃を立ったままできるビリーゴートや電動ディスクカップなどでおこなう。



溶解温度
(190℃～204℃)

6. 材料溶解 焦がさないように混ぜることが重要です。完全に骨材とバインダーが混ぜ合わさったことを確認します。

マスチックワン【加熱タイプ】 施工手順



7. クイックシール貼り付け V/Uカットした内側にクイックシール貼り付けた後、白い離形紙を剥がしてバーナーで炙ります。



8. 養生テープ貼付け V/Uカットした外側に75mm以上の幅の養生テープを貼り付ける



9. マスチックワン敷き均し マスチックワン溶解温度190°C~204°C確認後金属バケツに底から2杯、表面を1杯をいれ、充填し、熱コテで敷き均す。



10. ハーナー炙り 養生テープを剥がした後、端部や表面をバーナーで焦がさないように炙り、成形します。



11. デタック液散布 40°C以下で交通開放であるが、即座に開放したい場合はデタック液を噴霧します。 使用量m²当たり0.09リットル目安



12. 完成